

科目名	デザイン論 3							年度	2026
英語科目名	Design theory 3							学期	前期
学科・学年	デザイン科 プロダクトデザイン専攻 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	江崎泰央	教員の実務経験		有	実務経験の職種		プロダクトデザイナー		
<b>【科目の目的】</b> あらゆるデザイン制作がコンセプトを基に進められることを理解し、簡潔な言葉を用いた自己のデザインの方向性を表現できるようになる。 デザインコンセプト立案のため、様々な発想法を学びながら、独創性がある、第三者の為に必要な広義のデザインを探究する。 伝達力と有用性の高いデザイン・コンセプトを構築し、実践社会で活用する事が狙いである。									
<b>【科目の概要】</b> コンセプトワークの意義、必要性などの理解とともに、具体的な演習を行いながら代表的な手法マインドマップ、ブレインストーミング、KJ法、NM法などを学習する。後半は前半で学習した発想法を展開し、説得力のある実践的なデザイン・コンセプトを立案、そのデザイン・プロセスをプレゼンテーションにて発表する。									
<b>【到達目標】</b> コンセプトを基に企画、制作し、実践社会で活用できる独創的魅力的デザイン力を身につける。伝わるコンセプト制作を通して、一貫性のあるデザイン・シンキングと第三者へ伝達する為に必要なコミュニケーションワークができるようになることを目標にしている。									
<b>【授業の注意点】</b> 授業内の提出物、プレゼンテーションを含むグループ・個人課題の全提出者を採点基準とする。また、授業時間数の4分の3以上出席しない者は評価を受けることができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル3 ふつう					レベル1 要努力	
到達目標 A	デザイナーに必要な基礎知識を理解し、自らの考えをわかりやすく人に説明することができる		デザイナーに必要な基礎知識を理解し、自らの考えを言語化しまとめることができる					デザイナーに必要な基礎知識の理解と、言語化が不足している	
到達目標 C	制作時間を考えて内容を工夫し、スケジュール管理と課題提出ができる		提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができる					提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができない	
到達目標 E	主体的に授業参加し、自分の作品を言語化して丁寧に説明できる		自分の作品を言語化して説明することができる					自分の作品を言語化して説明することができない	
到達目標 D									
到達目標 E									
<b>【教科書】</b> レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。									
<b>【参考資料】</b>									
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b> 提出物20% 課題の提出状況について評価する。 グループワーク30% グループ課題の提出・発表について評価する。 個人ワーク40% 個人課題の提出・発表について評価する。 平常点10% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		デザイン論3			年度	2026
英語表記		Design theory 3			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ガイダンス	授業の流れについて	1 ガイダンス	授業の目的内容について理解する事ができる	2	
2	コンセプト実例演習	実例を知る	1 コンセプトについて	コンセプトの意味と実例について理解する事ができる	2	
3	グループワーク①	課題概要	1 グループワークについて	グループワークの目的を理解する事ができる	2	
			2 課題概要	課題内容を理解する事ができる		
4	グループワーク②	コンセプトの発想	1 コンセプトの発想	コンセプトを導くためにグループで話し合う事ができる	2	
5	グループワーク③	コンセプトの発想	1 コンセプトの発想	コンセプトを導くためにグループで話し合う事ができる	2	
6	グループワーク④	コンセプトの発想	1 コンセプトの発想	コンセプトを導くためにグループで話し合う事ができる	2	
7	グループワーク⑤	コンセプトの発想	1 コンセプトの発想	コンセプトを導くためにグループで話し合いまとめる事ができる	2	
8	グループワーク⑥	コンセプトの発想	1 コンセプトの発想	コンセプトを導くためにグループで話し合いまとめる事ができる	2	
9	個人ワーク①	課題概要	1 個人ワークについて	個人ワークの目的を理解する事ができる	2	
			2 課題概要	課題内容を理解する事ができる		
10	個人ワーク②	情報収集と現状分析	1 情報収集	課題に沿った情報を収集する事ができる	2	
			2 現状分析	収集した情報を元に現状を分析する事ができる		
11	個人ワーク③	コンセプトの発想	1 コンセプトの発想	コンセプトを導くために考える事ができる	2	
12	個人ワーク④	コンセプトの展開	1 コンセプトの展開	コンセプトを導くために考えをまとめる事ができる	2	
13	個人ワーク⑤	コンセプトの発表	1 発表する	まとめた内容を分かりやすく発表する事ができる	2	
			2 発表を聞く	他の人の発表に対して自分の意見を持つ事ができる		
14	個人ワーク⑥	コンセプトの発表	1 発表する	まとめた内容を分かりやすく発表する事ができる	2	
			2 発表を聞く	他の人の発表に対して自分の意見を持つ事ができる		
15	まとめ	まとめ	1 まとめ	授業を通してコンセプトの意味とまとめ方を理解し形にする事ができる	2	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等